


早稲田大学法学部試験問題

2015年度春学期試験

科目名	憲法Ⅱ B	春学期	授業 時間	火4時限
実施 日時	2016年1月26日	4時限	担当 教員	中島 徹 不名誉教授

<p>科目：(いちおう) 憲法 (珍法?) 試験時間：60分 持込条件：持込不可 (但し、週刊新潮・平成27年2015年10月29日号の記事のみ可)</p> <p>※昨年度までのことを言いますと、答案用紙を白紙で提出する受験生が多いようです。また何か書いてあっても、何も考えずシケタイやイトマコの丸写しをしている者、判例の論法にただ沿っているだけの者がほとんどです。毎年同内容の解答がいくつも出てくるので丸写しであることはバレバレです。そのような答案は全て不可にしています。私が出題しているのは、小手先のテクニックでは答えられない「答えのない問い」です (笑)。特に今年度の問題についてはそのことが当てはまります。よく考えて解答して下さい。</p> <p><設問1></p> <p style="text-align: center;">  ←これは何か、論述せよ。 </p> <p><設問2> 「立憲デモクラシーの会」と「立憲デモクラシイの会」の異同について論述せよ。</p> <p><設問3> 妻子ある60歳の憲法学者が教え子の女子学生にみだらな行為をし、女子学生がそれをマスコミに告発した。普段教壇から「表現の自由」の意義をクソエラソーに説いている人間が、いざ自分が批判の矢面に立たされたとき、いかなる対応を採ることが予想されるかについて、またその対応の是非について論述せよ。</p> <p><設問4> 上記の人物が学界および大学から追放されることで路頭に迷うことが予想される人物が次に「寄生先」として目論んでいる人物の名前を考えられるだけ列挙するとともに、そうしたパラサイト気質の人間を学界および大学から皆無にするにはどうしたらよいか、その対策について論述せよ。</p> <p><設問5> 以下の各発言にツッコミを入れよ (※「入れる」のであって「挿れる」のではないこと、諸君の「センス」が問われていることに注意されたい)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「僕の顔をキミの両足ではさんと、僕の顔をびしょびしょにして、立っているキミの脚の間に顔をおしつけるよ。そしたら、腰をくねらせて、締め付けて！」 ■「少しでもいやら挿れさせてほしい」 ■「おOんちOがおっきくなってきたよ！」 ■「もっともっと、すべてを魅せて！ キミの滴がほしい！ 飲みましたい！」 ■「あれでは大学院でやっていけない」 ■「君に売春容疑がかけられていて、私も警察から事情を聞かれた」 	答案の書き方 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">横書</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">縦書</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">鉛筆使用</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">不可</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">可</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">試験実施時間</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">60分間</td> </tr> </table>	横書	縦書	鉛筆使用		不可	可	試験実施時間		60分間	
横書	縦書										
鉛筆使用											
不可	可										
試験実施時間											
60分間											